

「パソコンを使えるようになると世界が変わります」。視覚障害者のIT学習を支援するNPO法人SPAN（東京都港区）の理事長北神明さん（62）の言葉を聞くと胸が熱くなる。北神さんは40歳で視力を失つたが、パソコンのおかげで再就職ができた。

北神さんは定年を迎え、これまで12年間取り組んできた「SPAN」での視覚障害者向けパソコン教室の活動を拡充させ、全国規模での指導者養成や支援講座の開催に取り組んでい

る。音声読み上げソフトを使えば、パソコンや携帯電話が「目」となって、文字を音声に変えてくれる。「それまでは、誰かに頼まない

と新聞も手紙も読めなかつたのですから。もう一度、いたい私たちの講座に来

る方の切なる願いです」新聞を読みたい、辞書を使いたい、私たちの講座に来たい。私はそのためにも、離職するのは本当にもらっていない。40代の方が、この技術を知つていれば仕事を辞めなくてよかったのになあ、とおっしゃいます」

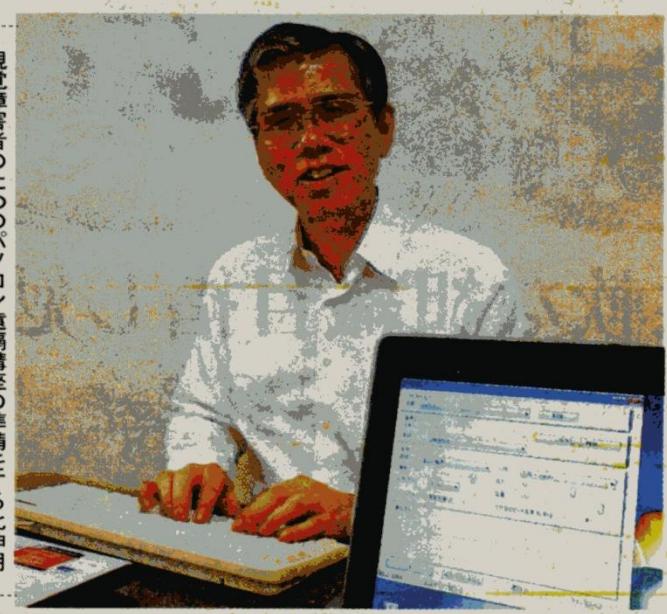
北神さんが最も熱心に取り組んでいるのが「視覚障害者のためのパソコン遠隔講座」だ。講師と生徒のパソコンで同じ画面が共有できる技術

「リモートアシスタンス」やインターネット無料電話の普

及で、遠隔地での在宅学習は格段にやりやすくなっています」

「すら難しい。しかし、読み上げソフトを使えるようになります。92歳から始めた方も使えるようになりましたよ」

北神さんのメールにはいつも感激してしまう。優しい温かい言葉遣い。分かりやすく、簡潔な文章には誤字が一つも



視覚障害者のためのパソコン遠隔講座の準備をする北神明さん＝東京都港区のNPO法人「SPAN」事務所

全国規模で指導者養成

「中途の視覚障害者は外出

習得が困難ですから、パソコンで情報を得られるのは本当に重要です。すべての視覚障害者にこの技術を届けたい」と言う北神さんの夢を応援していきたい。

（老テク研究会事務局長・近藤則子）

北神明さんが代表を務めるNPO法人「SPAN」のホームページは「<http://www.span.jp/>」